

事務事業調書

平成26年度

事業No	805	課	文化振興課	係	文化財係	起案者	齋藤弘之
						決裁者	牧浩之
事務事業名	文化財保護事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 2 文化財の保護と育成 1 調査・保存管理の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-70	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H25.12例例会：歴史のまちづくりについて H26.3定例会：本證寺周辺の整備について				
陳情・市民要望	有	H13二子古墳周辺整備 H17姫小川古墳保護 H21福釜農業倉庫保護				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和36年度	経過	53年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域に関心のある市民が		~になる	文化財を「核」にまとめることで、地域への誇りが生れます。	
事務事業の内容	安城市内の文化財を保護する基本的な部分を担う事業です。文化財のなかで重要なものを指定文化財と認定し、補助金による保護の対象とします。また、市指定文化財を諮問する文化財保護委員会を、年4回以上開催します。平成25年度は、本證寺の保存活用基本計画を策定しました。					
改善・対策の履歴	【平成21年度】本證寺境内の景観を復旧するため、本證寺内堀ハス再生事業を開始しました。 【平成24年度】桜井神社クロマツの害虫防除対象を胸高囲40cm以下のものまで拡大しました。 【平成25年度】安城市指定文化財に明文化された基準が無かったため、指定基準を作成し、文化財保委員会で決定しました。 【平成25年度】本證寺境内の国史跡指定のため、保存活用基本計画を策定しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	13,802	16,351	23,010	22,001	18,581	
財源計	2,840	5,389	14,946	13,937	10,517	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	164	182	0
	一般財源	2,840	5,389	14,782	13,755	10,517
受益者負担金	0	0	164	182	0	
職員人件費(従事職員数)	10,962 (1.74)	10,962 (1.74)	8,064 (1.28)	8,064 (1.28)	8,064 (1.28)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	天然記念物害虫防除	見込	39.00	31.00	50.00	50.00
			実績	41.00	50.00	49.00	
	指標名 (単位)	防除件数(件)	活動の総事業費(千円)	998	1,229	1,313	
			活動にかかるコスト(千円)	24.34	24.58	26.80	
活動2	活動名 (活動内容)	文化財保護委員会	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	5.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,014	1,011	915	
			活動にかかるコスト(千円)	253.50	252.75	183.00	
活動3	活動名 (活動内容)	本證寺内堀環境整備事業	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	環境整備事業の実施(式)	活動の総事業費(千円)	1,575	1,575	1,575	
			活動にかかるコスト(千円)	1,575.00	1,575.00	1,575.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指定文化財の指定件数(件)			目標	214.00	216.00	218.00	220.00
				実績	217.00	218.00	220.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	222.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	本證寺内堀での花の開花(箇所)			目標	2.00	2.00	2.00	2.00
				実績	2.00	1.00	2.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>指定文化財の指定件数は目標を達成しましたが、市指定史跡東端城址の現状変更(一部破壊)を止められなかったという反省すべき点もありました。</p> <p>本證寺内堀ハス再生事業では、平成25年度は大門両側の堀をハスの花で満たすことに成功しました。</p> <p>本證寺境内の国史跡指定のため、保存活用基本計画を策定しました。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	市指定文化財の指定基準を決定するため、文化財保護委員会を例年の4回から1回多い5回開催しました。天然記念物(桜井神社のクロマツ)の害虫防除は、一定の成果が継続して見られるようになりました。
成果	平成25年度に2件の新規市指定文化財を加え、市内の指定文化財数は計220点になりました。しかし、数の多さから、管理の適切さを確認する管理調査が追いつかず、無許可の現状変更などの不適切な状態が見られるようになりました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>平成26年度では、増加した指定文化財の管理を定期的に確認できる制度作りを行います。</p> <p>天然記念物の害虫防除は、現在の成果を継続していきます。</p> <p>本證寺内堀ハス再生事業については、今後もハスのある歴史的景観が維持されるよう継続していきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	現状の文化財を保護していく施策は、今後も維持継続していく必要があります。本證寺境内の保存管理計画の策定や土地公有化による保護、さらに整備活用など、一層の拡充が求められます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	803	課	文化振興課	係	文化財係	起案者	齋藤弘之
						決裁者	牧浩之
事務事業名	文化財保存事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 2 文化財の保護と育成 2 無形民俗文化財の育成			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-70	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	安城市補助金等の予算執行に関する規則				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有	H23.6桜井地区文化財保存会「文化財保存活動への助成に関する要望書」				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和39年度	経過	50年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域に関心のある市民が		~になる	文化財の価値を享受でき、地域への誇りが生まれます。	
事務事業の内容	安城市内の指定文化財に対し、補助金を交付することで保存・伝承を図る事業です。無形民俗文化財である三河万歳、桜井町の棒の手及び桜井神社のまつり囃子の後継者を育成するために、保存会による保存・伝承活動の支援をします。また、指定文化財を後世に伝えていくために、修理の必要となった文化財の修理費に補助金を交付します。					
改善・対策の履歴	【23年度】補助対象経費を明確にするなどの要綱の見直しを行い、24年度から施行しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,006	2,062	5,197	5,039	1,419
財源計	439	1,495	4,882	4,724	1,104
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	439	1,495	4,882	4,724
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	567 (0.09)	567 (0.09)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	文化財保存事業業務	見込	1.00	2.00	6.00	2.00
			実績	1.00	2.00	6.00	
	指標名 (単位)	交付数(件)	活動の総事業費 (千円)	142	1,324	4,616	
			活動にかかるコスト (千円)	142.00	662.00	769.33	
活動2	活動名 (活動内容)	無形民俗文化財保存伝承事業補助金	見込	9.00	9.00	9.00	9.00
			実績	9.00	9.00	9.00	
	指標名 (単位)	交付団体(件)	活動の総事業費 (千円)	612	612	423	
			活動にかかるコスト (千円)	68.00	68.00	47.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	文化財保存修理事業件数(件)			目標	1.00	2.00	6.00	2.00
				実績	1.00	2.00	6.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	無形民俗文化財保存伝承事業補助金交付団体(件)			目標	9.00	9.00	9.00	9.00
				実績	9.00	9.00	9.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	文化財の修理については、文化庁及び歴史博物館等で実績があり信頼がおける業者を紹介しました。その結果、保存状態が適切なら、今後100年以上の保存が可能な状態に修理することができました。 無形文化財については、桜井町の棒の手保存会に10代後半～20代の会員が増え、活気が生れてきました。安城の三河万歳保存会の会員数は29名ですが高齢者が多く、中長期的には対策を講じる必要があります。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	年度ごとに修理が必要な指定文化財数が一定でないため、事業件数や事業費が大きく変化します。
成果	安城の三河万歳保存会の会員の高齢化については、適切な対策を打ち出せていません。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
文化財保存事業補助については、単年度に修理事業が集中しないように、指定文化財の保存状態を把握し、適正な修理時期を見極めるようにします。 安城の三河万歳保存会へ若い新会員が加入できる工夫を考えます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	無形民俗文化財の保存伝承は、長い年月が必要です。継続こそが重要です。今後は、単に補助金の交付だけでなく、新規会員の募集など、具体的な対策を考えなければならない時期に来ています。また、有形文化財は保存修理があつてこそ後世に残すことができます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	804	課	文化振興課	係	文化財係	起案者	齋藤弘之
						決裁者	牧浩之
事務事業名		文化財調査事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 2 文化財の保護と育成 1 調査・保存管理の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-70	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	その他(名古屋市立大学)			
実施期間	開始	平成18年度	経過	8年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域に関心のある市民が		~になる	「核」となる文化財を知ること、地域への誇りが生れます。	
事務事業の内容	安城市内の文化財を保護していくための、基礎資料となる調査を行う事業です。 平成25年度は、主に寺社建築の文化財悉皆調査、取り壊されてしまう建造物についての記録保存のための建造物緊急調査を行いました。					
改善・対策の履歴	【平成19年度】毎年度の建造物調査の成果を、リーフレットとして刊行し始めました(現在も継続)。 【平成24年度】平成19年度から開始した日本デンマーク時代の建造物(農業倉庫など)についての調査をまとめ、報告書として刊行しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	13,292	12,790	10,677	10,273	12,215
財源計	8,063	7,561	7,338	6,934	8,876
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	8,063	7,561	7,338	6,934
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	5,229 (0.83)	5,229 (0.83)	3,339 (0.53)	3,339 (0.53)	3,339 (0.53)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	文化財悉皆調査委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	経費(式)	活動の総事業費(千円)	1,533	1,533	1,422	
			活動にかかるコスト(千円)	1,533.00	1,533.00	1,422.00	
活動2	活動名 (活動内容)	建造物緊急調査委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	経費(式)	活動の総事業費(千円)	1,869	1,869	1,806	
			活動にかかるコスト(千円)	1,869.00	1,869.00	1,806.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	文化財悉皆調査件数(式)			目標	18.00	15.00	13.00	54.00
				実績	18.00	15.00	13.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	建造物緊急調査件数(式)			目標	3.00	3.00	3.00	3.00
				実績	5.00	3.00	3.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>悉皆調査をすることで、埋もれていた文化財の価値に光があてることができました。例えば、根崎八幡神社本殿と東端八剱神社本殿は、建造年代が江戸初期～中期と古く、同一人物が屋根を葺いたことなどが明らかとなり、平成26年度に市指定文化財となる候補になりました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	歴史的建造物の調査という専門性から、調査を委託できる相手が大学等の専門機関に限定されます。
成果	1年間に調査できる建物数には限界があり、建物の建替えなどの開発に追いついていないのが現状です。現状では、社寺建築を除けば、建造物調査がその後の保存に結びついていません。本質的には、調査すること自体が目的ではなく、保存することが目的です。こうした調査が保存につながるような制度が必要となってきています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>年次計画を定めて、調査及び成果の報告書刊行をすすめていきます。また、調査がただ単なる調査にとどまるのではなく、実際の保存へつなげていくとともに、その成果(文化財としての価値など)を市民に還元する方法を考えていきます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	歴史的建造物は、今後の「まちづくり」を考えていくうえでも、その核となる意味で要です。現在の調査を維持・継続していくとともに、これからは保存と活用まで視野に入れていくべきでしょう。

事務事業調書

平成26年度

事業No	801	課	文化振興課	係	文化財係	起案者	齋藤弘之
						決裁者	牧浩之
事務事業名	文化財啓発事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 4 文化財愛護の啓発 1 文化財愛護の啓発			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-70	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H20.9.4定例会部長答弁(啓発活動推進)				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和36年度	経過	53年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域に関心のある市民が		~になる	歴史を「核」にまとまることで、地域への誇りが生れます。	
事務事業の内容	安城の歴史や文化財の意味や価値を、市民に普及啓発する事業です。埋蔵文化財センターでの展示のほか、主催講座(夏休み子ども考古学講座、あおぞら歴史教室など)、出前講座などの開催とともに、市民協働のためのボランティアの育成を行います。					
改善・対策の履歴	【平成25年度】史跡などを歩いてまわる「歴史ウォーク」を企画し、安城ふるさとガイドの会(ボランティア団体)と市民協働することで実施しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	14,237	14,253	12,506	11,957	12,884
財源計	1,385	1,401	2,237	1,688	2,615
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	156	110	25	83
	一般財源	1,229	1,291	2,212	1,605
受益者負担金	156	110	25	83	25
職員人件費(従事職員数)	12,852 (2.04)	12,852 (2.04)	10,269 (1.63)	10,269 (1.63)	10,269 (1.63)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	主催講座の実施	見込	7.00	7.00	7.00	7.00
			実績	10.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	講座数(件)	活動の総事業費 (千円)	736	734	734	
			活動にかかるコスト (千円)	73.60	91.75	91.75	
活動2	活動名 (活動内容)	出前講座の実施	見込	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	16.00	16.00	11.00	
	指標名 (単位)	講座数(件)	活動の総事業費 (千円)	882	882	567	
			活動にかかるコスト (千円)	55.13	55.13	51.55	
活動3	活動名 (活動内容)	ボランティアによる土器づくり教室の開催	見込	200.00	200.00	200.00	200.00
			実績	218.00	211.00	221.00	
	指標名 (単位)	講座開催日数(日)	活動の総事業費 (千円)	239	281	263	
			活動にかかるコスト (千円)	1.10	1.33	1.19	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	埋蔵文化財センター入館者数(人)			目標	12,000.00	13,000.00	14,000.00	15,000.00
				実績	9,107.00	9,313.00	7,592.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	16,000.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	啓発イベント参加者数(人)			目標	2,000.00	2,000.00	1,500.00	1,500.00
				実績	2,258.00	3,213.00	1,523.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>新美南吉生誕100年を記念して、「あおぞら歴史教室」と「夏休み歴史ウォーク」「秋の歴史ウォーク」で、南吉ゆかりの地を見てまわりました。</p> <p>出前講座では、国史跡指定を目指す本證寺や、鷗尾が出土したことで新聞各紙に取り上げられた別郷廃寺などの内容で開催しました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>出前講座の実施件数では、主催者の事情による「本證寺フェスティバル」の中止、天候による「サンクスフェスティバル」の延期と縮小、学校の事情による土器作り講座(出張講座)の減少などにより、減少しています。また、基本的なスタンスとして依頼を待っているためか、実績が見込みに達していません。</p> <p>埋蔵文化財センターで実施する土器作り教室は、興味のある方の参加が一巡したところで、リピーターにつながっていないため、参加者数が減少したと考えられます。</p>
成果	<p>平成25年度の成果指標「啓発イベント参加者数」を下げたのは、5年に一度開催される「安城こどもまつり」の終了、「本證寺フェスティバル」の中止が決まっていたからです。</p> <p>埋蔵文化財センターの入館者数は、中学校の見学学習において時間の関係から見学を省略する機会が増えたこと、展示替えが1年に1度(前年度の発掘調査の成果を展示する)なため、変化が無く単調に感じられることなどから減少したと考えられます。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>出前講座は、機会を待つような受身ではなく、こちらから積極的に機会を作るように働き掛けていく必要があると思います。また、例年、同じことを続けていたのではマンネリ化し、相対的な魅力は薄れていきます。本質的な部分を押えた上で、常に新しい企画を取り入れていく必要があると感じています。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>歴史や文化財の意味や価値を市民へ広く浸透させていくという意味で、今後最も力を入れていく必要がある分野です。職員だけでは限界があるため、市民協働をすすめ、ボランティア団体とともに実施していくことになります。また、常に新しい企画を取り入れていかなくては、魅力が色あせてきてしまいます。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	806	課	文化振興課	係	文化財係	起案者	齋藤弘之
						決裁者	牧浩之
事務事業名	埋蔵文化財調査事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 2 埋蔵文化財センター			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-70	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	文化財保護法第92条～第108条、安城市埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例				
法定受託事務	有	開発にともなう発掘調査は、法定受託事務と同等とみなすことができる				
公約・議会答弁	有	H17.9.9市民文教常任委員会答弁(発掘調査成果を埋蔵文化財センターで実施)				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和26年度	経過	63年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	文化財保護法に基づき開発申請した申請者が		～になる	発掘調査の後、計画通りに建設工事等を実施することができる。	
事務事業の内容	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)を開発(破壊)する場合に、事前の試掘調査と発掘調査(記録保存)を実施します。調査成果を整理、研究し、報告書を刊行します。出土資料は収蔵保存していきます。発掘調査によって明らかになったことがらを、広く周知します(活用や普及啓発は、文化財啓発事業で行います)。					
改善・対策の履歴	【25年度】発掘調査によって注目すべき成果があった場合、積極的にマスコミ発表し、市民が地域の歴史を再認識することをうながしました。 【25年度】限定された調査期間内で、発掘調査の成果を直接市民へPRする機会(現地説明会)を開催しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	52,762	53,607	62,675	55,185	65,112	
財源計	38,335	39,180	46,862	39,372	49,362	
財源の内訳	国庫支出金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,200
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	0	71	1	380	1
	一般財源	36,335	37,109	44,861	36,992	47,161
受益者負担金	1	0	1	380	1	
職員人件費(従事職員数)	14,427 (2.29)	14,427 (2.29)	15,813 (2.51)	15,813 (2.51)	15,750 (2.50)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	発掘調査・試掘調査	見込	30.00	35.00	40.00	30.00
			実績	32.00	35.00	55.00	
	指標名 (単位)	調査件数(件)	活動の総事業費(千円)	22,721	23,142	23,820	
			活動にかかるコスト(千円)	710.03	661.20	433.09	
活動2	活動名 (活動内容)	発掘報告書	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	刊行数(冊)	活動の総事業費(千円)	30,041	30,465	31,365	
			活動にかかるコスト(千円)	15,020.50	15,232.50	15,682.50	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	住宅着工前に発掘調査を終えることのできなかった数(件)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	発掘調査の結果が大手マスコミで取り上げられた数(件)		目標	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	5.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	別郷廃寺出土の鴟尾は、新聞各紙で取り上げられた結果、各町内会行事での展示を依頼されるなど、市民に広く知られることになりました。 また、本證寺外堀の範囲確認調査において現地説明会を開催し、これも新聞に取り上げていただきました。 「広報あんじょう」での特集記事をはじめ生涯学習情報誌「あんてな」「歴史博物館研究紀要」「歴史の散歩道」などに調査成果を発表・反映させています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	平成25年度は、消費税増税前ということで、個人住宅の駆け込み建設があり、発掘調査・試掘調査の件数が大きく伸びました。景気の改善から、こうした傾向が今後も続く可能性があります。 2冊刊行した発掘調査報告書の1冊は、国史跡指定にかかる本證寺境内のものを前倒しました。それ以外の遺跡については、26年度以降に順次刊行していく予定です。	
成果	平成25年度は、発掘調査・試掘調査の件数が大きく伸びましたが、迅速な対応と効率的な調査によって、工事計画に影響を及ぼすことなく乗り切ることができました。 各マスコミで調査成果が取り上げられたことによる影響は大きく、今後は更なる情報提供と、情報提供の仕方を工夫していかなければならないと考えられます。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
今後も、住宅建設等の工事計画に影響を及ぼさないよう、迅速で効率的な発掘調査を実施していきます。 発掘調査の成果は、新聞などのマスコミだけでなく、様々なメディアを通じて情報発信していきます。特にホームページは、親しみやすくわかりやすい構成にします。 また、文化財啓発事業において、展示や出前講座などを充実させることにより、発掘成果を地域に還元できるようにしていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	本事業の調査は、ほとんどが住宅建設等の開発行為にともない、文化財保護法に基づく発掘調査及び報告書作成が必要事項となっているものです。当然のことながら、調査の精度や水準は維持しなければなりません。さらに、その後の活用や普及啓発のことを考えれば、行政による調査が維持継続されることが適切と考えます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	949	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名		史料整理活用事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 2 文化財の保護と育成 1 調査・保存管理の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-70	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成20年度	経過	6年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	安城の歴史や文化に興味のある人が		~になる	市内の文献資料を通してより深く関心をもてるようになります。	
事務事業の内容	市史編さん事業により刊行した新編安城市史等の幅広い活用を促すとともに、執筆の根拠となった古文書等の資料、マイクロフィルム、複製コピーなどの貴重な文化的財産を整理・保存・公開します。 また、未だ旧家・町内会・寺社等には未公開・未整理の貴重な歴史資料が多数存在し、それらの調査・整理・保存・公開を行います。					
改善・対策の履歴	平成21年度に学芸係の工作室と、文化財係の資料室それぞれの資料受け取り体制を一本化。文書資料の目録情報の統一化を行いました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	13,545	13,338	14,080	12,166	16,237
財源計	10,710	10,503	11,245	9,331	13,402
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	10,710	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	0	10,503	11,245	9,331
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	古文書整理	見込	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
			実績	5,247.00	2,859.00	4,405.00	
	指標名 (単位)	目録件数(件)	活動の総事業費(千円)	2,520	6,701	5,465	
			活動にかかるコスト(千円)	0.48	2.34	1.24	
活動2	活動名 (活動内容)	既収蔵民具の清掃	見込	0.00	1,500.00	1,500.00	2,000.00
			実績	0.00	1,938.00	1,623.00	
	指標名 (単位)	清掃件数(件)	活動の総事業費(千円)	0	4,446	3,597	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	2.29	2.22	
活動3	活動名 (活動内容)	収蔵品の棚卸し	見込	0.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
			実績	0.00	10,000.00	10,000.00	
	指標名 (単位)	棚卸し件数(件)	活動の総事業費(千円)	0	2,191	1,679	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.22	0.17	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	博物館収蔵資料点数(点)		目標	52,000.00	62,000.00	72,000.00	70,000.00
			実績	60,985.00	62,893.00	66,312.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	資料調査活動や文書資料整理活動が、工作室・資料室の体制再編により、それぞれの分野で役割を発揮できました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	古文書整理は、史料の判読難解、平易の差で大きく変わるので変化が生じます。古文書解読や歴史知識などの専門性が必要な場合があります。平成23年度からは受け入れ体制を一本化し、過去の受け入れ資料の確認に重点を置いて活動したため、古文書整理の量が減少し、単価が増加しました。	
成果	資料整理作業は、整理対象となる資料の内容・性格または、他の博物館事業の補助等によって時間あたりで処理できる点数に増減が生じます。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
歴史資料は、古文書だけでなく現代の資料も貴重なものがあることを市民に啓発し、調査活動につなげていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	これまでの調査により、今まで不明であった市内各地の地域の歴史が相当明らかとなりつつあります。今後も可能な範囲内で地域の歴史を掘り起こす努力をしていく必要があります。